

福田寺だより

発行

神奈川県小田原市飯田岡二五七

飯田山・福田寺 36-27

住職 橋本尚信

55

団参の概要決まる

東寺創建千二百年記念

平成六年もあとわずかで暮れようとしていますが、今年には平安建都千二百年に当たり、京の都は何かと話題に上りました。

真言宗総本山教王護国寺（東寺）は、桓武天皇が延暦十三年（七九四）に平安京の造営をはじめ、間もなく創建されましたので、平成七年に創建千二百年を迎えます。

これを記念して東寺並びに東寺真言宗では、大法会を計画しております。期間は平成七年十一月八日より

二十一日までの二週間で、この間様々な催し物が計画されております。

東寺を本山と仰ぐ福田寺では、この大法会を記念して本山参りを主とした団参を企画致しました。期日は平成七年十一月十三、十四、十五の二泊三日で京都を中心とした紅葉を満喫するバス旅行です。詳しいパンフレットは後日送付いたしますのでふるって参加くださいますよう、ご案内、お勧め致します。

東寺と

弘法大師

桓武天皇が平安京に遷都せられた時、王城鎮護のために朱雀大路の正門である羅城門をはさんで、その東西に左右の二大寺を建立された。その左大寺が東寺であり、右大寺が西寺であります。天皇は天下の諸寺の建立を一切禁じてまで、東西二寺の興隆に専念された。この御遺志を継承された嵯峨天皇は、徳の上からいっても、法の上から見ても、ともにその人である弘法大師をして東寺の造営に当たらしめんと、弘仁十四年（八二三）大師に東寺を賜ったのである。東寺を勅賜された大師は、その意をくんでここを密教の根本道場とし、「教王護国寺」と名付けて諸堂、伽藍の整備をし、真言密教をあまねく天下に弘通したのであります

るような気がいたします。

このような墓地不足から、自然葬（散骨）に関心が高まっており、私は散骨が明らかに墓地埋葬等に関する法律の歪曲解釈によってつくり出されたものであると確信しております。つまり違法性が高いのです。しかし、それで良しとする考え方もあってよいのですが、ただマスコミに振り回され、机上で作られた官僚の意見を鵜のみにすることは、気を

つけてほしいと思います。

要は人の命の重さを感じて、どのような祀り方をするのが良いのか、亡き人を思い、感謝の気持ちをおこめて供養することができるか、神仏の眼からみて何がただしいのか、それぞれが熟慮して行動されることを念じるのみであります。

 * 平 成 十 八 年 雑 権 感 念 *

先日、ある宗教団体に通っている人から問い合わせがあり、どうも疑問を感じているとのことでした。

いろいろな悩みごとがあり、相談に行き通いつめるようになったのが、近々一カ月の研修道場に通うように言われて迷った末、福田寺にみ

人は悩み苦しむから、宗教を頼りとするのですが、その悩み苦しみがどこから来るのか分かれれば、まず宗教は必要無いでしょう。しかしまたその悩み苦しみがどこから来るのかを教えてください。さるのも宗教（神仏）であると思います。

いねんを誦む会

写経・阿字観実習へ

平成三年の九月から始まりました「お経を読む会」も今年の十二月で三十三回を重ねることが出来ました。般若心経、勤行法則、等の講読を終えることが出来ました。次回からは、また違った学習会にしたいと思っておりますので、どうぞ都合のつく方はご自由に参加下さい。

毎月十五日

夜七時半より一時間

テキスト

東寺真言宗在家勤行法則
 （寺にあります。）

参加費用 一人百円

次回 一月十五日

新年厄除け薬師護摩供養

申し込み受付中

一月八日 午後一時より 修行

記

真言密教には、病気を主に他のあらゆる苦しみから逃れる手段として薬師如来を奉り、一切の苦難の原因を取り除く護摩供養が、千数百年の間連綿と受け継がれています。

人間の心底からの願い、悩み、苦しみを、真正面から受け止めてくださる仏様、それが薬師如来さまであります。現実を肯定する密教において、自分をさらけだしておすがりできる仏様です。

福田寺の本尊は、この薬師如来さままで、古来よりその靈験は近在に知られております。新年恒例の薬師護摩供養会を下記の要領で修行いたしますので、護摩ご希望の方はお申し込みください。檀家以外の方でも勿論結構です。

期日・・・一月八日、午後一時より
祈禱料・・・三千元
祈禱内容・・・厄難消除（厄よけ）

身体健康、病魔退散、家内安全、交通安全、商売繁盛、業運繁栄、学業成就、合格祈願、安産祈願、子授け祈願、その他
申し込み・・・一月七日まで、電話可

平成七年厄年

男性

- 前厄 昭和三十一年生まれ
- 本厄 昭和二十九年生まれ
- 後厄 昭和二十八年生まれ

元旦祈願

除夜の鐘とともに、本堂の扉を開けておきます。

午前0時より一時まで、住職により新年の御祈禱が修法されますので、ご自由に初詣下さい。尚、年賀等一切不要ですので念の為。

暮れのお参り

古い護摩札やお守りなどは、暮れのお参りの時に、本堂入り口に用意された納め場所に納めて下さい。特に大きなものや、燃えないものは、寺の者に連絡してください。

女性

- 前厄 昭和三十九年生まれ
- 本厄 昭和三十八年生まれ
- 後厄 昭和三十七年生まれ